

平成 27 年第 2 回朝日町議会定例会会議録（第 4 号）

平成 27 年 3 月 10 日（火曜日）午前 10 時 00 分開議

議事日程（第 4 号）

- 第 1 一般質問  
第 2 議案第 4 号から議案第 31 号まで並びに議員提出議案第 1 号  
（委員会付託）
- 

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 一般質問  
日程第 2 議案第 4 号から議案第 31 号まで並びに議員提出議案第 1 号  
（委員会付託）
- 

出席議員（10 人）

- |      |           |
|------|-----------|
| 1 番  | 清 水 眞 人 君 |
| 2 番  | 荒 尾 勇 二 君 |
| 3 番  | 道 用 昭 雄 君 |
| 4 番  | 小 川 慶 二 君 |
| 5 番  | 大 井 光 男 君 |
| 6 番  | 西 岡 良 則 君 |
| 7 番  | 加 藤 好 進 君 |
| 8 番  | 長 崎 智 子 君 |
| 9 番  | 水 野 仁 士 君 |
| 10 番 | 大 森 憲 平 君 |
- 

欠席議員（0 人）

---

説明のため出席した者

町 長 笹 原 靖 直 君

副町長	金島光一君
教育長	永井孝之君
まちづくり推進統括監 兼商工観光課長	小川雅幸君
企画政策室長	小杉嘉博君
総務課長	山崎富士夫君
財務課長	大村浩君
住民・子ども課長	中島優一君
健康課長	清水明夫君
農林水産課長	坂口弘文君
建設課主幹	竹谷俊範君
会計管理者	谷口宗次君
あさひ総合病院事務部長	寺崎昭彦君
在宅介護支援センター所長	宇田速雄君
消防署長	谷口優君
教育委員会事務局長	水島康彦君

---

職務のため出席した事務局職員

事務局長	道用慎一
主任	平木敦

(午前10時00分)

#### 開議の宣告

議長(水野仁士君) 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員数は10人で、定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

---

#### 日程の報告

議長(水野仁士君) 本日の日程は、昨日に引き続き町政に対する一般質問、及び上程案件の委員会付託であります。

---

#### 町政一般に対する質問

議長(水野仁士君) 昨日に引き続き、町政に対する一般質問を行います。

質問は、お手元に配付してあります文書表の順で行います。

なお、ご承知のことではありますが、最初の質問及び答弁は登壇して行い、再質問及び再質問に対する答弁は自席でお願いいたします。

最初に、西岡良則君。

〔6番 西岡良則君 登壇〕

6番(西岡良則君) 皆さん、おはようございます。6番、グループ22の西岡です。

本日は大変お寒い中、そしてまた足もとのお悪い中、自治振興会の皆様方におかれましては、昨日に続き傍聴に来ていただき、まことにありがとうございます。心から感謝と御礼を申し上げたいと思います。

それでは、平成27年第2回朝日町議会定例会におきまして、ただいま議長のお許しをいただきましたので、登壇をさせていただきました。よろしく願いをいたします。

春の訪れを間近に感じさせる富山湾の風物詩、ホタルイカ漁が解禁された3月1日、国道8号入善黒部バイパスの黒部市古御堂から魚津市江口間の開通、8日には黒部市山田のふるさと農道と朝日町高畠の新川広域農道を結ぶ県営基幹農道整備事業新川中部地区の全線開通式が行われるなど、交通渋滞の緩和や医療・消防活動の迅速化、農業振興や新川地域の活性化につながる新しい交通網が完成をいたしました。

また、14日の北陸新幹線の開業もあと4日後に迫り、まさに日本海・北陸時代の幕あけを感じさせます。同日にはあいの風とやま鉄道も開業し、泊駅であります「あいのトキめき駅」

においても、当日は新たなスタートを祝し、盛りたくさんの楽しいイベントが開催されることになっております。町民の皆様多数のご来場をお待ちいたしております。

一方、国では、地方創生関連2法案が可決し、人口減少に歯どめをかけ、活力ある日本社会実現のための「まち・ひと・しごと」の地方創生は、集権体制で慣らされてきた中央依存の考え方を換え、「管理あって経営なし」「依存あって自立なし」という姿勢から脱却をし、地域の人材を発掘し、地域を新たに創造していくことが求められており、まさに地方自治体のアイデア、知恵、創意工夫が問われております。

そうした中、朝日町では新年度予算編成が行われ、町長は「夢と希望が持てるまちづくり」の公約実現に向け、高齢者福祉の充実、健康で生活することへの環境づくり、富山県下の子育て支援、若者の定住対策などの政策と方針にもとづき、朝日町の再生を目指した予算編成に当たられたものと思っております。

それでは、通告に従いまして、質問をさせていただきます。

最初に、新年度予算についてお伺いをいたします。

1点目は新消防庁舎建設についてであります。

消防の業務は、町民生活の安全・安心を守ることが第一の任務であります。近年の消防業務は、火災の多様性もあり、大変複雑化をいたしております。

また、救急業務や救助業務においても、町民の高齢化の進展や交通事故の増加などによる業務が増大するとともに、近年各地で頻発する地震や集中豪雨などの自然災害にも的確、迅速に対応し、住民の生命・財産をあらゆる災害から守るという重要な責務を担っております。

こうした中、現在の消防庁舎は、昭和53年に建設されており、耐震性能が充たされていないとともに老朽化が進むなど、防災活動の拠点施設として十分に機能を果たせるのか危惧をされておりました。また、高速道路の開通による救助工作車や救急車の増車、車両の大型化や職員の増員などにより、現在の庁舎や施設が手狭になり、迅速な消防活動に支障を来す状況にありました。

このたび朝日消防署新庁舎整備検討委員会から報告がなされ、新年度予算に消防庁舎整備事業費が提案されておりますが、消防庁舎の規模、建設候補地、検討結果についてお尋ねをいたします。

【答弁：消防署長】

続いて、あいの風とやま鉄道の利用促進とマイレール意識の醸成についてお伺いをいたします。

3月14日の北陸新幹線開業とともにJRから経営分離され、同日に営業を開始するあいの風とやま鉄道は、日々の通勤、通学、買い物といった町民生活の基盤を支える重要な交通アクセスであるとともに、広域的・幹線的なネットワークを支える重要な役割を担っており、北陸新幹線開業後もこれまでのサービスを低下させないことが何よりも大切であることは言うまでもありません。

また、安全・安心を最優先に確保しながら、沿線住民にとっての利便性を高めることや観光客などの利用者の増加を図り、効果的・効率的な運営がなされるとともに、利用者の視点に立ち、将来にわたって存続させ、安定的な経営を維持していくためにも、運営会社、地域住民、各種団体、行政、交通業者などがそれぞれ主体的に鉄道の魅力を高めるためのさまざまな取り組みを行うことが大切であります。そのためには、沿線住民のマイレール意識の醸成が必要不可欠の課題であると思いますが、町としてどのような対策をとられる所存なのかをお尋ねいたします。

また、北陸新幹線の開業に伴い、歴史と文化の香り高い町、美しい豊かな自然に恵まれた町を訪れていただいた皆様に「また朝日町に来たい」と思ってもらうには、観光の魅力アップやおもてなしの向上はもちろんですが、町の特産品販売なども考慮した泊駅の駅舎整備や利用促進のため、泊駅周辺の整備も図る必要があるかと思いますが、新年度予算にはどのように反映されているのかをお伺いいたします。

【答弁：町長】

3点目は、伝統芸能DVD制作事業についてお伺いをいたします。

朝日町には宮崎の鹿嶋神社稚児舞、笹川諏訪神社獅子舞といった町指定無形民俗文化財以外にも、各地に多くの伝統芸能が存在いたしております。こうした各地区の伝統芸能は、先人のたゆまぬ努力により、幾多の困難をも乗り越え、脈々と受け継がれ保存・伝承されてまいりました。

しかしながら、若者の伝統文化に対する関心の薄さや近年の人口減少、少子高齢化、過疎化の進展も相まって、ますます若者の伝統文化離れが進んでおります。

町民に伝統芸能のよさや大切さを知ってもらうことはもちろんであります。長年にわたって保存・伝承されてきた貴重な無形の伝統芸能を後世に伝えることにより、より一層文化

の香り高いまちづくりと地域の連帯感や活性化、交流人口の拡大が図られるものと思っております。このたびの伝統芸能DVD制作事業予算の提案は、まさに時代の的を射たものであると思っております。その制作の意図や内容、活用方法についてお尋ねをいたします。

【答弁：教育委員会事務局長】

.....

次に、件名2の町民の要望についての有害鳥獣対策について質問をさせていただきます。

朝日町での有害鳥獣対策については、朝日町有害鳥獣対策協議会と連絡を密にしながら効果的な鳥獣対策を推進するとともに、住民に人身被害など不測の事態が発生しないための対応策として電気柵を設置し、居住区域への侵入を防ぐほか、鳥獣被害対策実施隊による捕獲業務が行われているところでもあります。

しかしながら、昨年は例年より冬の訪れが早く、初雪により設置してあった電気柵の撤去が間に合わず、雪に埋もれた電気柵に損傷の被害が出ているとも聞いております。また、昨年暮れの雪は水分を多く含んだ重い雪であったため、樹木の雪折れや倒木が電気柵の設置箇所に多く見られ、倒木の伐採・撤去をしなければ今後の電気柵設置に支障を来す状況にあり、大変苦慮しておられる地区もあります。

町として電気柵の損傷や倒木の撤去について、どのように対処される所存なのかをお尋ねいたします。

また、昨年の秋にはイノシシ、熊が集落まで出没し、人身事故が起きなかったものの、ミョウガなどの農作物に被害が出ている大平地区など、高齢化が進み電気柵の設置や管理ができない地域での電気柵の設置・管理の方策について、町としてどのような検討をしておられるのかをお聞きします。

【答弁：農林水産課長】

最後に、自治公民館の新築・改修補助についてお伺いをいたします。

各町内会に設置されております公民館、いわゆる自治公民館は、地域の最も身近なコミュニティ施設であり、町内会の各種会合はもとより、地域の伝統芸能、文化の伝承や団体の行事などの活動拠点として、また併設されております老人憩いの部屋は、老人に対して教養の向上、レクリエーションなどの場として老人の心身の健康増進を図るなど、常日ごろから幅広く活用されております。

朝日町では、地域における社会教育活動の充実並びに生活文化の向上を図るため、コミュニティ活動の原点である自治公民館の設置に関し、昭和55年に朝日町自治公民館建設事業補助金交付要綱を策定され、これまで、新築、全面改修など自治公民館の建設に対し、積極的に補助を行ってこられたところでもあります。

しかしながら、近年の急激な人口減少や少子高齢化の進展により、新築・改修が困難な町内もあるやに聞いております。

また、平成26年度に消費税が5%から8%に増税され、10%への増税予定が1年半先送りされたものの、10%ともなれば補助金の大半が消費税で消えてしまうことになります。

こうした状況を踏まえ、身近な地域の集会・活動の場である自治公民館の新築・改修を容易にするためにも、現行の補助金を検討すべき時期に来ているかと思いますが、町の見解をお伺いし、私の質問を終わります。

【答弁：総務課長】

当局の簡潔明瞭で一步踏み込んだ誠意ある答弁をお願いいたしまして、終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

.....

議長（水野仁士君） ただいまの西岡良則君の質問に対する答弁を求めます。

笹原町長。

〔町長 笹原靖直君 登壇〕

町長（笹原靖直君） 一般質問、西岡良則議員の件名1であります新年度予算について、要旨(2)、あいの風とやま鉄道の利用促進とマイレール意識の醸成についてお答えいたします。

いよいよ今週の土曜日、3月14日、待望の北陸新幹線の開業を迎えるとともに、同日、並行在来線のあいの風とやま鉄道も開業となります。明治43年4月16日に国鉄の駅として開業した泊駅は、あいの風とやま鉄道と、新潟県から乗り入れるえちごトキめき鉄道とが接続する重要な駅となります。

朝日町をPRするに当たり、両鉄道の社名の一部をつなぎ、「あいのトキめき駅」をキャッチフレーズとし、町内外に発信してまいりたいと考えております。

14日の開業当日には、あいのトキめき駅のスタートを盛り上げるため駅舎の装飾をし、記念のイベントを開催することとしており、多くの方々に足を運んでいただくことを期待しております。

議員ご指摘のとおり、あいの風とやま鉄道は、新幹線開業で人の流れが大きく変わる北陸地方における重要なネットワーク路線であるとともに、何より町民の日々の生活を支える交通手段としての重要な役割を担っていることから、開業後も利用者の増加を図りながら、安定した経営を維持していく必要があります。

このためには、あいの風とやま鉄道が効率的な運営を図っていくことはもちろんですが、地域住民や関係団体、行政が一体となり、鉄道の魅力を発信する取り組みを推進し、町民のマイレール意識の醸成を図っていくことが利用促進につながっていくものと考えております。

あいの風とやま鉄道が実施しているファンクラブ会員の募集については、町としても町民に加入を呼びかけていたところではありますが、2月末現在において、会員数約4,800名のうち、朝日町からは150名もの加入があり、人口割合から考えても予想以上の加入者数と考えており、今後も募集を継続していく予定であります。

また、鉄道の利用促進にはパーク・アンド・ライド、駐車場ではありますが、この推進は欠かせない重要な施策と考えており、現在JRが長距離切符購入者等に提供しております駅西側の駐車場を整備する費用を新年度予算において計上させていただいております。約40台分の駐車場を有効に活用し、あいの風とやま鉄道の利便性の向上につなげたいと考えており

ます。

さらに、駅舎の利活用につきまして、泊駅を朝日町の観光振興の拠点として、また中心市街地活性化の起点ともなる重要な施設として位置づけ、新年度予算では、まずは老朽化したトイレの全面改修にかかる費用を計上し、早急に整備を進めていきたいと考えております。また、駅舎待合室につきましては、地域に愛され、なおかつ町外からの来訪者も楽しめる空間としての改装を検討しております。

駅舎の整備は、あいの風とやま鉄道の利用促進、地域の賑わい創出、そして新幹線との連携による町の観光の魅力アップと多方面への効果が期待できる施策であり、中川特命推進監や澤崎まちづくりプロデューサーの意見も伺いながら、スピーディーかつ慎重に進めてまいりたいと考えております。

概要が決まり次第、議会へ報告申し上げ、補正予算での対応により整備を進めてまいりたいと考えております。

[【質問：件名1に戻る】](#)

.....

議長（水野仁士君） 次に、同じく件名1、新年度予算についての要旨(1)を、谷口消防署長。

〔消防署長 谷口 優君 登壇〕

消防署長（谷口 優君） それでは、西岡議員の件名1、新年度予算についての要旨(1)、新消防庁舎建設計画についてお答えをいたします。

現在の消防庁舎につきましては、議員が言われるとおり、建物の老朽化や耐震性の問題、さらに職員及び車両の増加に伴い、敷地を含めた施設全体が手狭となっていることから、朝日消防署新庁舎整備検討委員会を昨年10月に設置いたしました。

委員会は、学識経験者、民間団体、防災関係機関、医療機関等の代表の方々、合わせて14名で構成され、新庁舎の規模と機能、敷地面積、建設候補地について、住民の目線に立って協議・検討していただいたところであります。

この委員会は4回開催されまして、協議・検討するに当たり、消防業務の特殊性から、糸魚川市消防本部と新川地域消防本部の視察を行い、新庁舎に必要な機能と適正規模及び敷地面積から検討していただきました。

委員からは、朝日町の災害応急対策の拠点として機能が発揮できること、各種訓練施設を充実させること、さらに女性職・団員の職務環境を整備する必要があるなどの意見が出され、職員数、配備車両、消防団活動も考慮すると、新庁舎に必要な敷地面積は約5,000平方メートルが妥当であるとされました。

次に、新庁舎の建設候補地の検討に当たっては、さきにまとめられた敷地面積を確保できる役場庁舎東側や国道8号周辺の平柳地内など5カ所について検討していただきました。

委員からは、幹線道路に近く緊急出動しやすい場所が望ましいという意見や災害現場到着時間の地域格差の是正を図るべきであるといった意見、また町有地を有効活用するべきであるなどの意見が出され、建設候補地は役場庁舎東側の町有地が最適であるとまとめられたものであります。

これらの意見は「朝日消防署新庁舎整備検討委員会報告書」として整理され、1月30日に町長に提出されました。

これを受け、2月には町としての整備方針を議会に説明するとともに、新年度予算に地質調査や設計費等を計上しているところであります。

設計を委託する上で、町が要求する性能・品質に対し最も適した業者を選定するためプロポーザル方式で行う予定としており、選考委員には建築関係者や消防防災関係者に加わっていただく考えであります。

今後のスケジュールといたしましては、平成28年度には本体工事を着工し、平成29年度中の完成を目指してまいります。

以上であります。

[【質問：件名1に戻る】](#)

.....

議長（水野仁士君） 次に、同じく件名1、新年度予算についての要旨(3)を、水島教育委員会事務局長。

〔教育委員会事務局長 水島康彦君 登壇〕

教育委員会事務局長（水島康彦君） それでは、私のほうから、件名1、新年度予算についての要旨(3)、伝統芸能DVD制作事業についてお答えいたします。

朝日町の各地で伝えられております獅子舞は、春には豊作を願い、秋には五穀豊穡に感謝して演じられており、江戸末期ごろから広まり、明治に入ると庶民の民俗芸能として定着したと言われております。

平成18年に富山県が行った獅子舞芸能と祭礼調査によりますと、朝日町では14の地域で演じられていたものが、現在は10の地域で伝承されております。

町の獅子舞を含めた伝統芸能は、町指定無形民俗文化財であります宮崎の鹿嶋神社稚児舞、笹川の諏訪神社獅子舞のほか、「とやまの獅子舞百選」に選ばれております境・笹川・平柳・草野の獅子舞や、「とやまの祭り百選」に選ばれています境神社の祭礼、宮崎の鹿嶋神社祭礼、山崎地区の米吊りの奉納のほかにも、獅子舞やみこしの火渡り、盆踊りなどが受け継がれております。

しかしながら、伝統芸能を伝える側の高齢化や少子化などによる後継者不足により、次世代への継承が危ぶまれている地域も見受けられることから、町では、映像として記録に残し、未永く後世に伝えるため、DVDを制作するものであります。

なお、制作に当たっては、撮影の場所、時間帯など地元との協議を十分に行い、後世に残る映像となるよう努めてまいりたいと考えております。

また、このDVDの活用につきましては、協力していただいた町内会、伝統芸能団体、自治振興会、公民館や小・中学校、図書館などに配布し、町の伝統芸能を伝承するとともに、学校教育、生涯学習での活用や町民の皆さんへの周知にも活用してまいりたいと考えております。

以上です。

[【質問：件名1に戻る】](#)

.....

議長（水野仁士君） 次に、件名2、町民の要望についての要旨(1)を、坂口農林水産課長。

〔農林水産課長 坂口弘文君 登壇〕

農林水産課長（坂口弘文君） 一般質問、西岡良則議員の件名2、町民の要望についての要旨(1)、有害鳥獣対策についてお答えをいたします。

朝日町の有害鳥獣対策につきましては、平成16年6月に地域と協働した組織的対策の推進を目的として有害鳥獣対策協議会を設立、さらに昨年5月には鳥獣被害対策実施隊を設立して、電気柵による侵入防止と捕獲を組み合わせた対策を行ってきたところであります。

具体的には、有害鳥獣対策協議会による電気柵約30キロメートルの設置と鳥獣被害対策実施隊による29基の捕獲おりや銃器による捕獲業務が連携を図りながら、農業被害の軽減や人的被害が発生しないように努めてきたところであります。

このような中、昨年12月初旬の、例年より早く重い降雪によって引き起こされた倒木や積雪により、一部の電気柵が断線などの被害を受けております。

この電気柵の被害につきましては、町と有害鳥獣対策協議会が連携を図り、町補助金等を活用して対応してまいりたいと考えております。

また、倒木の撤去に関しましては、木の所有者が処理していただくのが原則ですが、自然災害でもあり、さらには有害鳥獣の活動が活発になってくる時期が近いことから、電気柵への支障となる場合は、町と地域の有害鳥獣対策協議会が連携して対応してまいりたいと考えております。

一方、高齢化が著しい大平地内などの電気柵設置につきましては、地域の実情を考慮し農業被害の実態を踏まえながら、維持管理の負担の少ない電気柵の導入ができないか、有害鳥獣対策協議会と協議を行いながら検討してまいりたいと考えております。

今後とも、有害鳥獣が町民の生活に及ぼす悪影響を防ぐため、地域と協働した安全・安心な町を目指す体制づくりを推進してまいりたいと考えております。

以上です。

【質問：件名2に戻る】

.....

議長（水野仁士君） 次に、同じく件名2、町民の要望についての要旨(2)を、山崎総務課長。

〔総務課長 山崎富士夫君 登壇〕

総務課長（山崎富士夫君） それでは、私のほうからは、件名2、町民の要望についての要旨(2)、自治公民館の新築・改修補助についてお答えいたします。

各町内会独自の集会施設等として整備されております公民館、いわゆる自治公民館につきましては、地域の最も身近なコミュニティ施設として、さまざまな会合や行事など広く住民の方々に利用されておりますことは、ご承知のとおりであります。

町では、これら自治公民館の整備に対する補助制度といたしまして、昭和55年の3月に朝日町自治公民館建設事業補助金交付要綱を制定いたしております。これは、町内会が設置する自治公民館の新築または全面改築に要する建築工事費に対しまして、世帯数でありますとか建築面積に応じまして270万円を上限として補助しているもので、これまで37の町内会に活用いただいております。

さらに、この建設、新築以外に、平成24年には、町内会等からの要望を受けまして、新たに自治公民館の改修に要する工事費、50万円以上の工事費なのですけれども、改修に要する工事費の20%、100万円を上限とした補助制度を加えるなどの要綱改正を行っております。この改修補助につきましては、要綱の改正以降、この3年間で11の町内会に活用いただいております。自治会活動を初め公民館活動等の推進に大きく貢献しているものというふうに認識をしております。

しかしながら、近年の急激な人口の減少や高齢化の進展などによりまして、町内会の中には自治公民館の新築でありますとか改修に対する負担が年々厳しくなり、現在幾つかの町内会等から新築及び改修に対する補助率でありますとか補助限度額の引き上げ等について要望を受けているところでございます。

議員ご指摘の、消費税率のさらなる引き上げの影響は、この自治公民館のみならず、町の補助制度全般にかかわることでもありますけれども、町といたしましては、広く町内会等の要望を踏まえながら、補助要綱の改正・見直しも視野に、負担の軽減に向けた検討をしてみたいと、このように考えております。

以上でございます。

【質問：件名2に戻る】

.....

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） 町長を初め課長さん方の答弁、まことにありがとうございました。

順を追って、幾つか再質問をさせていただきたいと思っております。

まず、新消防庁舎の建設計画についてですが、消防庁舎の規模と機能における基本方針の中に、さまざまな機能を有する庁舎となっているかと思いますが、地域防災拠点施設の役割、そしてまた各種防災資材や機材、また生活物資の備蓄・管理、こういったことも考えていかなければならないと思いますが、これから設計とかいろんなものに入っていかれると思いますが、そういったこともしっかり考えておられるかどうか、答弁をお願いいたします。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

谷口消防署長。

消防署長（谷口 優君） 今議員言われましたさまざまな機能を有するということにつきましては、各種訓練施設の充実もその中にも入っておりますし、それから情報化への対応でありますとか、それから先ほど答弁いたしましたように、これから採用されるであろう女性職員でありますとか、現在朝日町消防団にも任用しております女性の消防団員であるとか、そのような方々の職務環境も整備するという中で、さまざまな町民を対象の講習会等も行えるというような形でこのような基本的な中にさまざまな機能を有するという庁舎であるという形をとられたところでございます。

それから、今言われました備蓄関係の件につきましても、黒部、いわゆる新川地域の消防本部等の視察も行ったところ、その訓練塔の一部をそういう備蓄の倉庫としての活用も考えたつくりになっているとか、そういうところも拝見させていただいております。

そういう中で、当然、今後は町ともそのへんも含めて協議をしながら、設計にもつなげていきたいというふうに考えております。

以上です。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） 今後、本当に女性団員、そしてまた女性の職員ということもございしますので、そういったことをしっかり配慮しながら建設に取り組んでいただきたいと思います。

面積的には、その役場の横、5,000平米ということでクリアをしているわけです。もちろん

消防署員の訓練塔は、今言われましたように、備蓄等に使うということであります。

1点、毎年消防団の活動、操法大会が行われているわけですが、その訓練、1カ月余り行われるわけですが、照明とかいろんな問題があります。そういった中で、今の役場の横で実施できるのか。かつまた、今までのように、浄化センターといいますか、あそこへ行ってやらなきゃならないのか、そのへんをお答えください。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

谷口消防署長。

消防署長（谷口 優君） 消防団の操法訓練につきましては、今議員言われましたように、1カ月から2カ月程度訓練を行っております。仕事を持ちながらの消防団活動ということでありまして、訓練については夜間行っているというのが現状でございます。そういった意味で照明施設、そのへんも含めて、今の敷地の中で訓練ができるスペースも当然確保した形で計画をしているというところございまして、その中の今の候補地につきましては、十分その訓練ができるスペースを配慮しているというところでご理解いただければというふうに思います。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） ありがとうございます。

団員の方々が、それこそ1カ月間、2カ月間かかって訓練をされますので、そういったことも考慮してやっていただければありがたいと思っております。

それから、防災対策、いろんなものの中で、役場の横へ建設をされるというようなことになったわけでありまして、せっかく役場の横に建設をされるわけでありまして、こんなことを言っているのかどうか分かりませんが、その防災の施設を有効に町の役場が使えるような方法をとっていただきたい。例えば会議室が不足をいたしております。そしてまた、文書庫等々もいっぱいになってきているのかな。それから、町に防災対策室もありますが、そのへんのこととも考慮され、そして役場にありますが防災対策室をまた職員なりいろんなものを使うようなことを考え、その代替としての要素を持つようなものを考えていただければと思っておりますが、そのへん、どう考えておられるかお答えください。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

谷口消防署長。

消防署長（谷口 優君） 今議員言われましたように、役場との連携ですね。特に防災関係

との連携も含めて、職員の中からは、やはり、例えばつないで会議室を確保するとか、そのような意見も出ていることは事実であります。

設計を行う中でそれが可能なのかなどののかも含めまして検討してまいりたいというふう  
に考えているところでございます。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） よろしく願いいたします。

それから、消防庁舎の建設については、以前からの 広域消防になったものですから、  
それなりの補助金が出るわけです。それで、29年度までには完成をさせたいということであ  
りますが、過疎債がなかなか使いづらいということも聞いております。そういった中で、い  
ろんな補助金等々があると思いますが、しっかりと勉強されて、そういった補助金を使って、  
例えば役場と連携をするわけですから、2階とかという固定的な観念を持たないで、3階で  
も4階でも結構ですから立派な物をつくっていただければいいと思いますが、そのへんの考  
え方をお答えください。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

谷口消防署長。

消防署長（谷口 優君） 有効な補助制度を活用してくれというご質問でございます。

通常、消防庁舎の建設に当たりましては、有利な交付金、あるいは補助金等のメニューが  
ございません。したがって、全部手出しというのが通常でございますけれども、黒部市、  
入善町と広域を図ったことから、その運営計画において、「新しく建て直す必要があるんだ、  
朝日消防署は」ということで、国のほうに提出をしております。

それが認められておりますので、そういう中で緊急防災・減災事業債という起債事業がご  
ざいまして、それは過疎債と同じ率、いわゆる100%起債をかけることができると。で、70%  
の交付税といいますか、戻るといふ形の起債がございます。それを今のところ活用していく  
という考えでいるところでございます。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） しっかりと勉強されて、有効なものを使っていただければありがたいと  
思っております。

それでは、2件目の、あいの風とやま鉄道の件についてお伺いをいたします。

パーク・アンド・ライドの推進ということで、西側に40台の駐車可能な場所を設定されると。非常によかったなと思っております。その利用方法と管理方法というのはどういうことになるのかお答えください。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

小川商工観光課長。

商工観光課長（小川雅幸君） 現在、あいの風とやま鉄道との話し合いの中では、無償提供を受けて、かつ、駐車場料金を無償にするという条件で今整備を進めるということになります。したがって、駐車場料金は無料という方向で今考えております。

管理等、特に冬期間でございますけれども、消雪装置が過去にあった形跡はございますけれども、現在全く使用されておりませんので、新たな消雪の井戸のさく泉、それと消雪施設も含めて考えてまいりたいというふうに思っております。

将来的に、周辺に有料駐車場もございますので、そのへんの絡みも含めて周辺施設との協議も進めてまいりたいというふうに考えております。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） 管理ですが、JRのときは、長距離といいますか、東京等へ行くときをお願いをして借りていたわけですが、今度はどういうふうな方法であそこの40台の駐車場を借りることができるのか。勝手に通勤等で置いていってもいいのか。それで、管理方法はどうなんですかということをお聞きしたのですが、考え方があれば。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

小川商工観光課長。

商工観光課長（小川雅幸君） 現在は、いわゆる送迎の方については約6台、多少縮小しましたが、駅前でございます。この方たちについては、基本的に1時間程度だろうというふうに思っております。それと、今、駅舎の東側、昔の保線区の舗装してあるところについては、引き続きあいの風鉄道が有料駐車場として確保して運営をしていくというふうに伺っておりますので、駅西側で今パーク・アンド・ライドで考えておりますところにつきましては、今現在二十五、六台のスペースしかありませんので、それを40台に増やすということで、特に制限を設けなくても活用できるのではないかとはいえませんが、これは考えております。

ただ、アスカの有料駐車場がございますので、そのへんの兼ね合いを今後施設のほうと協議をして、方向性としてどういうふうにしていくかというのは課題として残っております。

ので、これは随時進めさせていただきたいというふうに考えております。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） よろしくお願ひいたします。

駅舎については、トイレの改修ということをお聞きしました。中ですね、待合室の改修はこれから検討されるということでもあります。

実は、私も東京等へ行くときに、富山のほうから来る普通列車を見ていると、高校生が列車の中から降りてこないんですね。寒い関係もあるのか、ずっとあそこにおいて、時間待ちをして、それからやおら出てくると。

やはりそういった高校生の人たちが列車から降りて、例えばパン1つでもいい、それからコーヒー1杯でもいい、そういったことをできるような駅舎を考えていただきたい。もちろん、町の特産品も売るようなものを考慮しながらやっていただければいいかなと。そして、気軽に、あそこへ行けばそういったことができるんだよというようなものをつくっていただければありがたいと思いますが、そういった考え方があるかどうかお答えください。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

小川商工観光課長。

商工観光課長（小川雅幸君） 今議員言われた考え方につきましては、当然、私どももそういった考えで進めてまいりたいというふうに思っております。特に駅舎というのは、もともと町の賑わいの原点であったというふうに考えておりますし、今言われましたように、高校生の利用客数も非常に多いということで、その高校生の方、また通勤通学の方が待合室でくつろげる空間づくりというものを、朝日町の特色を生かした内装の仕方ということで今少し検討させていただいておりますので、固まり次第、議会のほうにまた報告申し上げたいというふうに思っております。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） ありがとうございます。

ちょっとぼーんと飛びますが、利用促進の中で、教育長さん、小・中学校の研修、旅行といいですか、今全てバスだと。春、秋ですね。私どものときは、列車に乗ることも勉強だったがですね。今の子どもたちというのは、なかなか列車に乗ることもないんじゃないかと思っております。

そうした中で、春と秋の遠足というものがあるならば、1回ぐらい列車を使って、例えば泊1区から宮崎へ行って鹿島樹叢なり文化財を見るようなことをやっていただけるような方策をとることによって利用促進につながるかと思いますが、そのへん、教育委員会としてどういった考え方があるか。

これは、今急に言いましたので、なかなか答弁ができないと思いますけれども、教育長の考え方があれば、端的にお願いいたします。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

永井教育長。

教育長（永井孝之君） 児童・生徒の校外学習の中で、町外に出るときのあいの風鉄道の利用ということだと思えます。

これは、近くの市町村では、ある市が新幹線に乗って姉妹都市に子どもたちを送ろうというようなことも、今多分西岡議員がおっしゃっていた1つの案ではないかなというふうに思っています。

ただ、教育委員会といたしましては、各小・中学校に、遠足はこうなさいというような指示はあまりできないだろうなというふうに思っています。学校の、やっぱり主体性を尊重してあげなきゃならないなというふうに思っています。ただ、こういう情勢の中で、校長会を通して協議はできるだろうなというふうに思っています。

その中で、最近入ってきた情報の中では、西岡議員、先ほどバスでの遠足が多いというふうにおっしゃいました。確かにバスで行くと、先生方、1人か2人の先生が数十人の子どもたちを連れていくわけなので、安全確保の点から言うと、これは非常に利便性があると、効果があるというふうに思います。それも捨てがたい現実なのでありますけれども、来年度あたりからはバスの料金体系が変わって、今までは学校から目的地まで、そして帰ってくる料金でよかったのだけれども、来年度から多分、バスを学校に持ってくるまでの料金、それから今度帰り、バスが子どもたちを降ろして会社に帰るまでの料金も加えてくるというようなことも今聞いてはおりますので、多分遠足については、これまでの料金、子どもたちから集める集金とすればちょっと高額になってくるだろうなということも加味して、あいの風鉄道をご利用願うということも話題に当然なってくるだろうなというふうには思っていますので、みんなでこの鉄道を盛り上げるという意味では、前向きに話し合いにしていきたいなというふうに今思っているところであります。

以上です。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） 本当に前向きな答弁をいただきまして、ありがとうございます。

利用効果が上がってくればいいかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

「あいのトキめき駅」、本当にすばらしい名前になったかと。もう1つ、私は、以前から言っているのは「ヒスイ海岸駅」。これを、仮称といいますか、しっかりと使っていただいて、全国に発信をしていただきたいと思います。

これは要望になりますが、やはりインパクトのあるようなものをいかに全国へ発信していくかというのが、これからまさに地方創生の大きなかがみになってくるかと思っておりますので、そのへんもしっかり検討し、例えばグッズとかいろんな物、その駅へ行くと、宮崎へ行くとヒスイの勾玉がある。それから、トキめき駅へ来ると結婚がすぐできるとかいろんな物を、グッズを考えていただいて、昔は幸福の駅というのがありましたけれども、そういった発想で、人がそこへ行って切符を買いたいというようなものをやっていただきたいと思います。これは要望であります。

あとわずかになりました。

次は3点目、伝統芸能の伝承についてであります。

本当にいい物をつくっていただけるなと思っております。制作については、かなり時間がかかるのかなと思っております。勉強会の中でも教育長さん、それから局長さん等ともお話をしたわけですが、祭りというのは、例えば山崎の祭りから始まって、それから宮崎とか順次ずっと、例えば高畠のみこしの火渡り、こういったものとか、時期が違っているわけですね。だから、1年、下手すると2年かけて制作をしなきゃならんことも出てくるかと思うのです。

ただ、後世に残すためには、やらせでつくるよりも、臨場感のあるもの、そしてまた、東京のふるさと回帰支援センター、ああいったところでこう見せて、「ああ、ここへ行ってみたい」というようなものをつくっていただきたいと思います。

公民館の建設の補助もそうありますが、今、朝日町に大切なことは、本当に笹川さんも一生懸命にやっておられます。盆踊りの復活もやられました。やはり地元へ朝日町から出ていった方々が帰ってこられるような、お盆でも結構です。お祭りのときでも結構です。そういったものをしっかりやっていくことが町の再生、そしてまた創生に私はつながっていくものと思っております。

そのためには、やはり町として各地区のそういった伝統芸能文化にある程度の補助をしてでもいいのではないかと考えておりますが、そのへんの考え方、町長、よろしく願いいたします。

町長、草野の獅子舞もありますから。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

笹原町長。

町長（笹原靖直君） 西岡議員の言われたとおり、今朝日町は笹川地区が、非常に活気が上がっております。これも県内 知事も非常に楽しみにしているような状況であります。

やはり一番大事な地域コミュニティー、地域が元気があるということが大事だろうと思っていますし、私のところも、おかげさまで獅子舞があって、2日間の無礼講の中で若い世代がすくすくと育っている。やはりそういったことには、今言われたように、地元の郷土芸能というものを愛するそういったコミュニティーを充実させていくために、町がしっかりと支援をしていくということは、それは少なからず朝日町の活性化につながるというふうに思っています。

そういったことも、各課とまた連携を保ちながら、どの方法での支援がいいのかということも随時検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

西岡君。

6番（西岡良則君） ありがとうございます。

しっかり取り組んでいただければありがたいと思います。

なお、町民の要望については、しっかりと前向きな答弁をいただきましたので、これにて私の質問を終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

議長（水野仁士君） ご苦労さまでした。

[【長崎議員の質問へ移る】](#)

.....

次に、長崎智子君。

〔 8 番 長崎智子君 登壇 〕

8 番（長崎智子君） 皆さん、おはようございます。8 番の長崎でございます。

平成27年度第 2 回朝日町議会定例会において、ただいま議長のお許しをいただきましたので、さきに通告してあります 3 件について質問をいたします。

質問に入る前に、一言申し上げます。

先日、川崎市で上村遼太君の痛ましい事件が発生いたしました。本当に、未来ある若い命を救うことができなかつたのか、なぜこのような残酷なことができるのか。日本中が心を痛め、ふんまんやる方ない気持ちでいっぱいでございます。とても残念です。

そして、このことに関連して、文科省より、不登校の児童の調査をするよう教育委員会へ通達を出されたと伺っております。当町におきましても、住民の皆様ともども、全力で子どもたちを守らなければならないと思います。上村君には、心より哀悼の意を表します。

それでは、件名 1、平成27年度予算について。

初めに、平成27年度の予算の提案理由説明での予算について。

笹原町政になり初めての予算編成となりましたが、私は大々的な行政改革を期待しております。予算の目玉、重点政策がないように思います。

町長は町民の代表であり、リーダーでありますから、平成28年度からスタートする第 5 次朝日町総合計画に反映していただきたいと思います。

それでは、質問に入ります。

要旨(1)、適応指導教室開設事業についてでございます。

近年、世相が目まぐるしく変貌し、それに伴って人と人とのかかわり方も多様化しており、家庭や学校、友達の間においても、意思の疎通が図れない。また、いじめや教師とのかかわりなどにより、次第に心を閉ざさざるを得ない児童・生徒が増えているように思います。

相談する人もいない。学校にも行きたくない。逃げ場もなく、ついやさしい口調で誘われると、非行に走ったりします。

不登校児童については、不登校になる前に何か原因があり、児童の精神的な苦痛から生じたことではないでしょうか。

児童・生徒がこのような状態にならないために、またそうなった場合の癒やしの場、出直しの場として、町にも適応指導教室を開設されることはとても大切なことでございます。

そこで伺いますが、新年度予算に133万3,000円計上されていますが、内容と指導方法及び

開設場所などの具体案があればお聞かせください。

また、適応指導教室の備品、40万9,000円になっておりますが、あわせてお伺いいたします。

次に、要旨(2)、あさひ女性団体連絡協議会の補助金についてでございます。

あさひ女性団体連絡協議会の補助金についてですが、予算では、年間2万5,000円になって  
います。

現在、女性の社会進出が著しく増え、国でも安部総理大臣が女性の活躍に期待しておられ、  
管理職への登用も積極的に推進しておられます。

当町におきましても、女性の活躍が目覚ましく、朝日町連合婦人会という組織はなくなりましたが、後を引き継ぎ、平成8年11月にあさひ女性団体連絡協議会が設立され、現在11団体延べ約450人の会員が、お互いの立場を尊重しながら相互の連携を密にしてそれぞれの活動の進展を図り、女性の社会的地位の向上と福祉増進を目指し、地域社会の発展に寄与することを目的に掲げ、女性ならではの目線で赤ちゃんから高齢の方々まで温かく見守りながら地域発展の原動力としてボランティアを続けておられます。

先日開催されました、あさひ女性団体連絡協議会の主催の町政学習会のときには、それぞれの団体の活動内容や、個人個人が研修の都度、会費を出し合って活動しているなど、今後の活動への熱い思いを町長も聞かれたはずです。

あさひ女性団体連絡協議会の補助金を増額してほしい旨の要望書を出されたと聞きましたが、平成27年度予算に補助金の増額が計上されていません。町長のお考えをお聞かせください。

【答弁：教育委員会事務局長】

.....

次に、件名2、少子化対策について。

要旨(1)、マリッジサポートセンターの開設について。

富山県では、とやまマリッジサポートセンターを開設され、開設時の目標を年間600人としていましたが、約3ヵ月でお見合い会員が373人になり、まずまずの滑り出しだと、知事が女性議員に報告されました。

とやまマリッジサポートセンターは、公益社団法人富山県法人会連合会に委託されていますが、当町においても少子化対策事業としてマリッジサポートセンターを開設され、若者に出会いの機会を提供することも一案かと考えます。

人生経験豊富で、いろんな分野でボランティアをされ、朝日町の活性化にご尽力されていますあさひ女性団体連絡協議会などに、マリッジサポートセンター事業の軸となって活動していただくのも良案かと考えます。

町は、この事業をどのようにお考えかお聞かせください。

また、昨日、朝日町でも平成27年度予算に50万円計上されています「あさひまち縁づくりプロジェクト」を実施し、スキルアップセミナーやイベントを開催し、若者の集まる場や出会いの場を提供するとありますが、マリッジサポートセンターと同様の施策のように思いますが、内容と実施についての具体案をお聞かせください。

【答弁：企画政策室長】

.....

件名3、町が発注する入札について。

要旨(1)、町が発注する入札問題について。

入札につきましては、いろいろ問題も取り沙汰されていますが、町が発注する入札については、今後、県や黒部市、入善町等と同様に、予定価格を公表して入札してはどうか。町の考えをお聞かせください。

【答弁：財務課長】

以上です。終わります。

.....

議長（水野仁士君） この際、暫時休憩をいたします。休憩時間は約15分間とし、11時25分  
から再開をいたします。

（午前11時11分）

〔休憩中〕

（午前11時25分）

.....

議長（水野仁士君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほどの長崎智子君の質問に対する答弁を求めます。

最初に、件名1、平成27年度予算についての要旨(1)、(2)を、水島教育委員会事務局長。

〔教育委員会事務局長 水島康彦君 登壇〕

教育委員会事務局長（水島康彦君） 長崎智子議員の一般質問、件名1、平成27年度予算についての要旨(1)、適応指導教室開設事業についてお答えいたします。

さきの大森議員の代表質問でもお答えいたしましたが、全国的に不登校児童・生徒が増加しており、富山県でも6年ぶりに増加したことから、今後の動向について注視していく必要があると考えております。

朝日町では昨年度、小学校で3人の不登校児童がおりましたが、今年度の2学期末時点の報告では0人となっております。中学生につきましては、昨年度の5人から1人減少し、現在は4人との報告を受けております。

設置を予定しております適応指導教室は、不登校児童・生徒の集団生活への適応や情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談や指導を行うことにより、学校への復帰を支援し、不登校児童・生徒の社会的自立を促すことを目的に設置するものであります。

ご質問の、適応指導教室の内容について申し上げます。

開設場所につきましては、学校に行きにくい児童・生徒に配慮して、朝日町教育センターの2階として、パソコン等必要な教材備品の整備や専任の指導員1名を配置した上で、児童・生徒並びにその保護者の希望や学校の判断を経て受け入れたいと考えております。まずは入級を希望する児童・生徒の個人差や実情に即して基本的な時間やメニュー、備品の整備を行ってまいります。当面はおおむね半日程度、教室で指導員とともに過ごし、学校への復帰に向けた心と体のトレーニングを行いたいと考えております。

なお、適応指導教室の開設に係る事業費として、指導員の賃金に82万8,000円、インターネットの接続環境を整備するためのLAN整備工事に9万6,000円を計上したところであり、備品につきましては、極力教育委員会が所有する物を活用することとして、今回新たに購入する物としては、職員及び生徒用のパソコン2台と職員用の椅子1台、電話機1台の計40万9,000円を計上したところであります。

今後、運営するに当たり、個々に応じた教材備品の整備や諸課題も出てくるかと思いますが、先進地の取り組みを参考に、運営方法のあり方や効果的な指導方法の習得に努め、児童・

生徒の一日も早い学校への復帰に向け、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

次に、要旨(2)のあさひ女性団体連絡協議会の補助金についてお答えいたします。

あさひ女性団体連絡協議会は、平成8年11月に、女性の団体がお互いの立場を尊重しながら、相互の連携を密にし、それぞれの活動の推進を図り、女性の社会的地位の向上と福祉の増進を目指し、地域社会の発展に寄与することを目的に設立され、現在、11団体で活動されているところであります。

女性団体連絡協議会の皆さんは、個々の団体においては、それぞれの立場で福祉や環境、交流など幅広い分野で活動されており、平成26年度は「町政を学ぼう」という活動目標を掲げて活動されていると伺っております。

また、全国ビーチボール競技大会や翡翠カップビーチボール全国大会では、大会参加者にバタバタ茶の無料配布などを行っていただいております、心から感謝申し上げます次第であります。

ご質問の、あさひ女性団体連絡協議会への2万5,000円の補助金の経緯につきましては、総会時の講演会活動に対するものであり、平成26年度も町から同額を支出しているところであります。

今回の補助金、2万5,000円の倍額以上の要望書を提出されましたが、具体的な金額、活動内容が不明であったことなどによりまして、平成27年度の補助金につきましては、平成26年度と同額で計上いたしましたので、ご理解を賜りたいと存じます。

以上です。

[【質問：件名1に戻る】](#)

.....

議長（水野仁士君） 次に、件名2、少子化対策についてを、小杉企画政策室長。

〔企画政策室長 小杉嘉博君 登壇〕

企画政策室長（小杉嘉博君） それでは、件名2、要旨(1)のマリッジサポートセンターの開設についてお答えいたします。

少子化問題は、社会経済の根幹を揺るがしかねない、待ったなしの課題となっております。その少子化の大きな要因といたしましては、未婚化や晩婚化、さらには非婚化と、結婚までに至らない人が増加していることが挙げられます。

朝日町におきましても、平成8年から14年まで、結婚を支援する結婚推進員制度・結婚相談窓口を開設するとともに、若者交流イベントの開催など結婚問題支援事業に取り組んでまいりましたが、いずれの事業も一過性のものとなり、結婚に結びつけることができなかったことから取りやめた経過がございます。これは、朝日町という狭いエリアの中におけるプライバシーの問題、また現代における女性の社会参加や価値観の多様化など個々人の考え方や意識に起因するのではないかと考えております。

ご質問のマリッジサポートセンターについてであります。平成26年10月に、富山県が結婚を望む独身男女の出会いの場を提供するため、お見合いを中心とした「とやまマリッジサポートセンター」を開設されました。このサポートセンターというのは、会員を募集・登録いたしまして、本人の希望と相手の了承が得られればセンターでお見合いをし、そして交際、結婚への流れとなるものでございます。

このシステムを朝日町でも開設してはどうかというご提案かと存じますが、先ほども申し上げましたとおり、朝日町という狭い地域でのプライバシーに係る問題等を要因として、かつての結婚問題支援事業が終息した事実を踏まえ、マリッジサポートセンターを朝日町単独で開設することは非常に難しく、富山県の取り組みに委ねるべきであると考えているところでございます。

しかしながら、少子化における施策として婚活対策・支援の推進は重要であり、長崎議員が提案されますように、例えばあさひ女性団体連絡協議会の皆様が結婚活動を支援する世話役としてご活躍いただくことも1つの手法ではと考えるところであります。

次に、「あさひまち縁づくりプロジェクト」事業について申し上げます。

この事業は、若者の人と人との縁づくりをお手伝いするものであり、朝日町だけではなく新川広域圏内の独身男女を対象といたしまして、スキルアップセミナーやイベントなどを開催し、集う場や出会いの場を提供したいと考えているものでございます。

具体例といたしましては、地元飲食店の協力も得ながら、五差路周辺複合施設を利用したパーティーイベント、なないろKANでのスイーツまつり、ヒスイ海岸でのヒスイ探しウォーキング、また、あいの風とやま鉄道・えちごトキめき鉄道を利用した企画などが考えられます。

今後、企画内容を十分検討いたしまして、単なる婚活や一過性のイベントに終始することなく、交流人口の増加、町のPR、産業振興など町の活性化にもつながる展開にしていきたいと思いますと考えております。

今議会の提案理由におきまして町長が申し上げましたとおり、平成27年度は人口減少・少子化対策を最優先に取り組んでまいります。これからも、町民・議会・行政がしっかりとスクラムを組みまして、一丸となって町の諸課題に取り組むことで、この人口減少・少子化に歯どめをかけ、夢と希望が持てるまちづくりに向けて全力を傾注してまいります。

以上でございます。

[【質問：件名2に戻る】](#)

.....

議長（水野仁士君） 次に、件名3、町が発注する入札についてを、大村財務課長。

〔財務課長 大村 浩君 登壇〕

財務課長（大村 浩君） それでは、私のほうからは、件名3、町が発注する入札について、要旨(1)、町が発注する入札問題について答弁をさせていただきます。

当町の入札制度につきましては、昨日の代表質問や一般質問でもお答えしたとおり、平成22年度に議会から見直すよう要請があり、長崎議員を含めたその当時の議員の皆様方と何回も協議を行い、平成23年度から現在まで新たな入札制度で執り行っているところであります。

今回、長崎議員の質問の中で、町の入札についていろいろと問題が取り沙汰されているという発言がありましたが、なぜまた、どうしてそういった発言をされるのか、私自身、理解に苦しんでいるところであります。

町といたしましては、今回の公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律や公共工事の品質確保の促進に関する法律などの改正を踏まえ、引き続き入札及び契約の適正化と品質確保の促進に努めるとともに、入札の透明性、競争性、公正性、品質の確保に十分留意しながら、地元企業の育成強化による地域経済の活性化と自由競争に基づいた企業努力によるコスト縮減の双方の調和のとれたものとなるよう、今後、入札制度の見直しについては検討をしてみたいと考えております。

以上であります。

【質問：件名3に戻る】

.....

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

長崎君。

8番（長崎智子君） 二、三再質問をさせていただきます。

まず最初に、適応指導教室開設事業についてでございます。

先ほど答弁いただきましたけど、昨日の代表質問にもありましたが、私は、今、川崎市の上村遼太君の殺害事件があったものですから、不登校になって友だちとの連絡が、上村君の場合は学校との連絡があまりなかったように私たちは思っておりますけど、朝日町では不登校児童の指導についてどのように対処しておられますかお伺いいたします。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

永井教育長。

教育長（永井孝之君） 不登校児童・生徒に対してどのように対応しておられるかというご質問であります。これは皆さんもちょっとご存じだとは思いますが、この不登校とか学校嫌いとか登校渋りとか、あるいは別室登校とかさまざまな状態があるわけですが、これらの子どもたち、これらに悩んでいる子どもたちの状況というのは、一人一人、全てが違います。

原因というのは、特定することは非常に難しく、複合的な要素が非常に多々あるわけですが、例えば人間関係であるとか、いじめであるとか、本人の社会性にちょっと難点があるとか、家庭環境であるとか、病気そのものであるとかということさまざまでありまして、一概に不登校に陥った子どもたちに、このように対応していますということはなかなか言いづらいところがあります。

現実にはどのように現在の時点で対応しているかといいますと、小学校、中学校にはスクールカウンセラーというのが県下で配置をされています。中学校にはカウンセリング指導員という方もおいでになります。その中でももちろん生徒指導主事、それから保健、養護教諭、それから担任というさまざまな立場の方がおられるわけで、それらの方々がその子どもさんと、誰が一体どのような密接なつながりを持っているかという方を主に家庭訪問を行ったり、あるいは子どもとのコンタクトを図ったり、その方を中心に実際にチームをつくって対処をするというのが、今現在学校が行っているところだというふうに思います。

それから、先ほど長崎議員は川崎市の話をしておいでたのですが、あのデータを見ますと、学校のほうとすれば、担任の先生が中心になっていたようでありますけれども、かなりの電話連絡をとっております。ただ、それがつながるか、つながらないかということ

については、子どもさんや保護者の皆さんの対応も当然あるわけでありまして、電話連絡、それから家庭訪問も随時やっておられたようであります。

ただ、これはなかなか面会ができなかったという現実、もちろん対人関係ですので、こちらがいくら働きかけても受取手がなかなか心を開いてくれないとできないという状況もあつたりして、今長崎議員からの最初の質問に戻りますけれども、どのような対応かと言われますと、簡単にいいますと、個々に合わせてよりよい方法を学校でチームをつくりながら対応しているというのがお答えになるだろうというふうに思います。

まだほかにご質問があれば、随時していただければというふうに思います。

以上です。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

長崎君。

8番（長崎智子君） それでは、先日代表質問であったのですが、他市町のほうでも、黒部市とかやっておられると聞いていますので、その指導というのはどういうふうなことをしておられるかご存じでしょうか伺います。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

永井教育長。

教育長（永井孝之君） 他市町の適応指導教室については、こちらのほうには、どんなことをされるかというような情報は入ってきております。それは、それぞれでありまして、この適応指導教室というのは、市町村で持っておられるところもありますし、県の総合教育センターでも行っておりますし、卒業した子どもたちを対象に自遊館でもこれに似た、近い活動を行っておられるところもありまして、これはやっぱりさまざまでありまして、基本的にはやはりその子どもさんの症状に応じて、子どもの興味・関心を中心にしながら個人別のメニューを組むということ、それから多数おられる場合には、組織としてやっぱり、例えば工作を、美術関係のことをするとか、遊びを中心にメニューを組むとかさまざまなものがありまして、一概に教科書があつてこのようにやっているというわけではありません。

それらのことを、今、黒部という例を出されましたけれども、黒部にはたくさんのスタッフがおいでで、かなりのメニューが組めるだろうなど。ただし、複数おりますので、その個々に合ったものについてはどの程度達成できるかということについては、また向こうにお願いするときは吟味しなきゃならないなというふうに思っています。

子どもさんが、例えば朝日町の場合は数人ということが想定されますけれども、特に1人

でやる場合には本当にその子に応じたメニューを組めるという利点がまた出てくるだろうなというふうに思います。

ですから、場所場所、その子どもさん、その人数等によって、指導者にも関係ありますけれども、メニューを組んでいるというのが実情だというふうに思います。

以上です。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

長崎君。

8番（長崎智子君） この教室の開設は本当によかったと私は思っておるわけで、教育委員会といたしましても、何かと大変だと思いますけど、随時よろしく願いいたします。要望です。

次に、マリッジサポートセンターの開設ですけど、これも、先ほど企画政策室の方が言われました。今、あさひまち縁づくりプロジェクトを実施するというので、これには女性団体連絡協議会の方々にもやはりお願いしられたほうがいいんじゃないかなと。私はこれも要望にしておきます。

それと、今ちょっと飛んだのですが、女性団体の助成金、26年度2万5,000円と。それ以前は5万円いただいておったときもあったと思いますが、その2万5,000円の根拠というのは、町でどのように考えておられるのでしょうかちょっとお伺いします。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

水島教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長（水島康彦君） 今長崎議員、5万円おっしゃいましたのは、講演会をするに当たって、県のほうから2万5,000円、町のほうで2万5,000円ということで5万円というふうにお聞きをしておったというふうに記憶をしております。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

長崎君。

8番（長崎智子君） わかりました。

今回は、3月の予算には間に合わなかったということと、また講演の内容とか、女性団体の方々にやはり、いろんなところを視察したりして勉強しておられる方もおられますので、今後、また町長のほうで考えをしていただきたいと思います。これは要望にしておきます。

それと、3件目ですが、町の発注する入札問題についてですけど、今答弁がありました、これは23年のときの条例改正については私たちもいたのですが、この後の検討問題というこ

とであれば、なぜこの検討問題と言われるのかなど。

実は朝日町の業者から、北陸新幹線の工事についても先に単価を公表して入札、ほとんど富山県とか黒部市とか、この単価を公表して入札しておられるわけで、当町はもっと前向きな考え方というものはないものでしょうか、ちょっとお伺いします。

議長（水野仁士君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

大村財務課長。

財務課長（大村 浩君） 長崎議員は予定価格の、いわゆる事前公表を求めておられるというふうに思っております。

このお答えにつきましては、きのうの大井光男議員の一般質問で答えましたように、今は現状とすれば全国もそうですし、富山県の市町村も確かに、いわゆる事前公表を行っているのが現状です。

ただ、きのうもお答えしましたように、国の流れは大きく変わってきています。国の通達がまず23年にありました。これは、平成23年には事後公表に変えていくようにという方向なのです。さらに、昨年10月、また先週の3月6日、金曜日にも県の説明会がありました。その中には、強く これは国の方針ですよ。予定価格は、原則として事後公表としなさいと言っているのです。

ですから、確かに朝日町は、これまでも事前公表していませんけれども、現状は事後公表になっています、いわゆる条件付き一般競争入札。それが結果として、今国の大きな方向と一緒にってきているというのが事実です。

ただ、きのうも申し上げましたように、これは法律では決まっていますので、あくまで市町村の団体に任意で決めるものであります。そのためにいろんな意見もあるかと思っておりますので、これについては、これからも皆さんと意見を交わしながら検討させていただきたいと思っております。

以上です。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

長崎君。

8番（長崎智子君） 入札問題にはいろいろありますけど、北陸新幹線の第二建設局とか、いろんな、新聞を見ていましたら、単価を公表しておるといってやっておられます。

実はやはり町が、業者が仲よくうまくやっていくには、いろいろな問題が出たりすることがありますので、やはりこの問題は慎重に町で検討していただきたいと思っております。

それで、私はこの問題に触れたのはどうしてかといいますと、

---

---

議長（水野仁士君） 長崎君にお知らせします。

8番（長崎智子君） 今のは、いいがでしょう。

議長（水野仁士君） 長崎さん、一般質問は、当局に対して事前通告してある内容に対する質問であります。

8番（長崎智子君） 質問じゃないですよ。今、要望です。

議長（水野仁士君） 議会に対する批判や質問は、議員協議会や議会運営委員会の場でお願  
いいたします。

もし言われりゃ、私、ここで休憩とりますよ。議運開きますよ。

8番（長崎智子君） 要望としますので、一応。

〔「議長」の声あり〕

議長（水野仁士君） はい。

〔「動議」の声あり〕

議長（水野仁士君） はい。

7番（加藤好進君） 長崎議員の今の質問は、当質問にはありません。

休憩を求めてかかって再開、直ちに議運を開いてください。

議長（水野仁士君） はい。

同調者、おりますか。

〔「はい」の声あり、挙手する者あり〕

議長（水野仁士君） それでは、ただいま動議がありました。

そこで、一旦休憩をいたしまして、議会運営委員会の開催を委員長に要請いたします。

暫時休憩いたします。再開は追ってお知らせをいたします。

以上です。

（午前 11 時 53 分）

〔休憩中に議会運営委員会を開催〕

（午後 1 時 00 分）

議長（水野仁士君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

長崎智子君。

8番（長崎智子君） ただいま質問の最中ですが、先ほどの入札制度についての再質問の中で、————と発言しましたが、この発言は場をわきまえない不適当な発言でございましたので取り消したいと思います。

また、改めまして 続けてもいいんですか。

議長（水野仁士君） はい、どうぞ。

8番（長崎智子君） はい。

入札制度の問題につきましては、後ほど支持者と相談いたしたいと思います。

これで私の質問を終わります。

議長（水野仁士君） どうもご苦労さまでした。

[【小川議員の質問へ移る】](#)

.....

次に、小川慶二君。

〔 4 番 小川慶二君 登壇 〕

4 番（小川慶二君） ただいま議長より発言のお許しをいただきました議席番号 4 番、小川慶二でございます。

きのうときょうとお天気の悪いのに連日傍聴に来られた方々には、町政に対する関心の深さに敬意を表します。

3 月 14 日には新幹線が長野から金沢まで開通し、東京とは 2 時間余りで結ばれます。首都圏との交流が東からやってきます。この朝日町は富山県の東の玄関口であり、襟を正すところがあります。また同時に、泊駅が新しく「あいのトキめき駅」としてスタートし、朝日町では歴史的な 3 月 14 日になります。

きょうここに、3 月定例議会におきまして、町当局に 3 件の質問をいたしますので、よろしくをお願いします。

まず件名 1 ですが、第 5 次朝日町総合計画について伺います。

要旨(1)としまして、その基本構想と重点事項について。

平成 23 年度にスタートした第 4 次総合計画が後期計画の最終年度となり、平成 28 年度からは第 5 次総合計画が始まります。そのためにも、26 年度の 7 月、8 月には町民アンケート調査、そして 27 年度予算にも総合計画策定業務委託経費が計上されています。

町長は、「夢と希望が持てるまちづくり」の実現に鋭意努力されていますが、その基本構想と推進すべき重点について、お考えをお尋ねいたします。

要旨(2)、朝日町再生会議について。

これは、第 5 次総合計画の策定に当たり、再生会議の成果が十分に反映されるものでなければなりません。この会議がまだスタートしてばかりで進捗状況は知る由もありませんが、期待されるものが十分にあり、公開討議されるべきと思いますが、いかがなものでしょうか。

【答弁：企画政策室長】

.....

件名2、第2資源物回収広場施設整備事業についてです。

要旨(1)、その開設される年度と場所と規模について伺います。

今や文明の発達とともに物量の豊かさで、資源物の放棄で山、川、海が荒れています。現在、この朝日町では、今ある箇所だけでは狭く、混雑しています。それで、第2の回収広場を待ち望んでいるわけですが、当局では、新たな場所で新設する計画が浮かんでいます、その場所は朝日町町内の比較的上部の柳田地内と聞き及んでいます、その用地の場所と規模と開設する時期はいつなのか伺います。

それに、町民の方々が搬入する交通の利便さと環境面の配慮もお願いしたいものです。

【答弁：住民・子ども課長】

.....

件名3、防潮林についてです。

要旨(1)、防潮林の整備と管理について。

小川右岸から笹川左岸までの防潮林について伺います。

海岸線を豊かに彩る松の防潮林は、朝日町を代表する風物詩です。それに、人家や田畑を潮風の塩害から守る大事な役割をしています。それが、最近では松の木の老木化と、そしてまた害虫の被害で枝が折れたり、松の葉がなくなり、潮風に耐えられなくなっています。対策として、薬での対応がなされているようだが、その効果はどのようなものか。

造林してから年数も相当たっているようで、植えかえ時期が来ているものと思われます。松林の整備と管理はどのようになっているのか。また、小川から笹川までの間で所轄区分が別れているのか。笹川より海浜公園まで整備されていますが、今後整備計画がどうなっていますか伺います。

赤川地内の小川から100メートルほどが、いまだに防潮林がなくて、人家や田畑がひどく塩害を受けているわけで、地元からの要望に対して町当局では対応すべく、町での計画を伺います。

結びに、安全で安心な豊かなまちづくりに邁進したいものと思っています。

【答弁：農林水産課長】

以上、質問を終わります。

.....

議長（水野仁士君） ただいまの小川慶二君の質問に対する答弁を求めます。

最初に、件名1、第5次朝日町総合計画についての要旨(1)、(2)を、小杉企画政策室長。

〔企画政策室長 小杉嘉博君 登壇〕

企画政策室長（小杉嘉博君） それでは、件名1、要旨(1)の基本構想と重点事項について、同じく要旨(2)の朝日町再生会議についてお答えいたします。

「人と自然、心と心、ふれあうまち“あさひ”」を将来像として掲げ、さまざまな施策を展開してまいりました第4次朝日町総合計画も残り1年となりました。最終年度である平成27年度におきましても、これまで同様、その目標の達成に全力を挙げて取り組むとともに、現在、これまでの成果と反省を踏まえて、平成28年度からスタートする第5次総合計画の策定作業を進めているところであります。

総合計画は、町の将来あるべき姿を描いた「基本構想」、将来像を実現するために基本的な展開の方向や主要な施策を定める「基本計画」、施策に沿った主要な事業を示し、予算編成の指針となる「実施計画」の3部で構成された、町全体が同じ目標に向かって進むためのまちづくりの重要な道しるべとなるものであります。

現在、町の将来像、施策体系を含めた、計画の根幹をなす基本構想案の骨子を検討しており、町長の公約に掲げられております富山県下一の子育て支援、若者の定住対策などの政策等については、重要プロジェクトと位置づけ、素案の作成を進めているところであります。

基本構想案は、議員や関係団体の代表者で組織する朝日町総合計画審議会にお諮りし、町民の皆さんのご意見を募集するパブリックコメントを経て、平成27年の9月議会に報告する予定としております。

また、基本計画、実施計画につきましては、まちづくりの効果的な推進を図るため、計画の進行管理を通じた事業評価の実施や予算と連動する仕組みを取り入れるとともに、施策や事業の成果が町民に対してわかりやすく、町民と行政がまちづくりの連携・協働を実践できるものになりたいと考えております。あわせて、短期・中長期の具体的な数値目標を設定し、優先すべき事業の達成度が把握しやすいものとなるよう検討を行い、基本構想を含め、基本構想策定後に策定いたします基本計画及び実施計画につきましても、内容がまとまり次第、事前に議員各位のご意見をお聞かせいただきたいと考えております。

去る1月29日に町民14名の委員による朝日町再生会議が発足し、町の喫緊の課題であります人口減少、少子高齢化、観光・産業振興について本格的な議論がスタートいたしました。委員の方々からは、「朝日町は捨てたもんじゃない」「町のいいところをもっと情報発信し

よう」など、力強く頼もしいご意見や町に対する熱い思いをお聞きしたところであります。

この再生会議で生まれました斬新で発展的なアイデアや取り組みを実行に移すことで、町の再生、そして夢と希望が持てるまちづくりにつながるものと期待をしており、今後さらに具体的な対策や施策等の議論を深めまして、10月ごろに出されます再生会議からの提言を第5次総合計画の基本計画や実施計画に積極的に盛り込んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

[【質問：件名1に戻る】](#)

.....

議長（水野仁士君） 次に、件名2、第2資源物回収広場施設整備事業についてを、中島住民・子ども課長。

〔住民・子ども課長 中島優一君 登壇〕

住民・子ども課長（中島優一君） それでは、私のほうから、件名2、第2資源物回収広場施設整備事業について、要旨(1)、第2資源物回収広場施設整備についてお答えいたします。

資源物回収広場につきましては、平成15年度に泊地内の県道入善朝日線沿いに開設し、毎週日曜日と水曜日の週2回、午前7時から午後7時まで、新聞、雑誌、使用済み小型家電など資源物の回収拠点として、町民の皆様にご利用いただいております。

また、平成23年10月には、舟川新地内にあります新川広域圏事務組合の建物をお借りして第2資源物回収広場を開設いたしました。当初は、毎週火曜日と土曜日の週2回開所していましたが、平成26年4月からは、日曜日も含めた週3回開所し、町民の皆様の利便性の向上に努めております。

しかし、第2資源物回収広場は、隣接する入善町との境界近くに位置することから、回収量は、平成25年度は全体の約12%、平成26年度は日曜日も開所したことにより、今のところ約18%程度の利用となっており、泊地内の第1資源物回収広場の混雑緩和には至っていない状況にあります。

今回、施設整備を予定しております用地は、間もなく開業を迎えます北陸新幹線に並行して富山県により新規敷設されました基幹農道沿いの山合川と小川に挟まれた場所に位置しております。この用地は、基幹農道整備に伴い、従来より町で検討しておりました朝日町管内の南側（山崎・大家庄）地域における資源物回収拠点の整備用地として、平成25年度に取得したものです。

この用地は、山合川と小川の橋梁をつなぐ基幹農道とは高低差があるため、道路の高さまで盛土及び擁壁工事を実施し、建設する予定であります。施設の大きさといましては、泊地内にあります第1資源物回収広場と同等の機能ということで、使用済み小型家電の回収も行うこととして、建築面積148.31平方メートル（約45坪）で、駐車スペースとして10台程度を確保した資源物回収広場を整備する予定であります。

開設の時期につきましては、新たに電力供給設備である電柱等の敷設や敷地整備が必要となることなどから、施設の完成は来年3月を見込んでおり、供用開始は平成28年4月を予定しております。

新しい資源物回収広場の設置により、町民の皆様の利便性の向上を図り、より多くの方に

資源リサイクルにご協力いただければと考えております。

以上であります。

[【質問：件名2に戻る】](#)

.....

議長（水野仁士君） 次に、件名3、防潮林についてを、坂口農林水産課長。

〔農林水産課長 坂口弘文君 登壇〕

農林水産課長(坂口弘文君) 一般質問、小川慶二議員の件名3、防潮林についての要旨(1)、防潮林の整備と管理についてお答えをいたします。

全国的な松枯れの被害は富山県においても例外ではなく、当町におきましても、マツノマダラカミキリ虫に寄生するマツノザイセンチュウの移動によって、沿岸部の防潮林に立ち枯れ多くが発生しております。

町では、有効な対策として駆除と予防が欠かせないことから、年2回の薬剤散布や松の幹にセンチュウの成長を抑える薬剤を注入する樹幹注入事業を行ってきております。しかしながら、薬剤の効果がなく枯れてしまった木々につきましては、倒木の危険性や景観に配慮し、県単独森林整備事業を活用して切り倒しを行うなど、生育環境の保全に努めております。

平成25年度には、被害の多かった笹川左岸から海浜公園までの間において、国の交付金を活用した新たな防災林を整備し、クロマツやタブノキ、アキグミの植栽を行ったところであり、木々がまばらとなった地点については部分的に補植を行うなど、生育環境の回復にも努めております。一方、最近の大規模な松枯れの被害は県内でも問題視されており、防潮林の役割が十分に発揮できるよう、再生林に向けて要望してまいりたいと考えております。

なお、小川右岸の赤川地内における防潮林のない箇所につきましては、昨年より地元要望を受け、防風、高波被害の軽減や隣接農地の環境改善のため、富山県に対し、事業化に向けた前向きな検討をお願いしているところであり、引き続き、県や新川森林組合と連携、情報交換を密にしながら、防潮林による沿岸部の保安全管理に努めてまいりたいと考えております。

以上です。

【質問：件名3に戻る】

.....

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

小川君。

4番（小川慶二君） 懇切丁寧なご回答、ありがとうございます。

第5次朝日町総合計画の基本構想ですが、総合計画は27年の9月の議会あたりに何か発表されるということですが、それを期待しておりますので、またよろしく願いいたします。それに朝日町再生会議の成果も十分に組み入れていただきたいものと思っております。これはひとつ、私ら期待して要望いたします。

次、件名の2ですが、資源物回収広場ですが、今ほど言われたとおり、朝日町の上部ということにおいては、朝日町全体を平均に考えますと、泊方面と大家庄方面であれば、それで大体均等に網羅できるということは本当にいいことだと思っております。

そういうことで、ぜひ、28年の4月からということは今お聞きしましたが、もう1年間ですが、ひとつ早く開設してほしいものと思っております。

それと、件名3の防潮林ですが、虫と塩害ですが、これと木の老化で本当に難しい面もあるかと思えますけれども、いろんなこともかみ合わせて、ひとつ景観をよくすること。それと、私も仕事柄、塩害をよく見ておるのですが、何とかあそこはきちんとしてやりたいなと私はそう思って見ておるわけなのでございます。それと、小川から100メートルほどの、赤川のあるところをできるだけ早く、県、国ともご相談申し上げて、完成してやってほしいものと私は思っております。

以上でございます。

どうもありがとうございました。

議長（水野仁士君） どうもご苦労さまでした。

以上で一般質問を終了いたします。

---

### 議案の委員会付託

議長（水野仁士君） お諮りいたします。

上程されております議案第4号 平成27年度朝日町一般会計予算から議案第31号 朝日町消防団条例一部改正の件までの28議案並びに議員提出議案第1号 朝日町議会委員会条例一部改正の件は、これを朝日町議会会議規則第38条第1項の規定により、それぞれ所管の常任委員会に付託したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（水野仁士君） ご異議なしと認めます。

よって、上程されております議案第4号から議案第31号までの28議案並びに議員提出議案第1号をそれぞれ所管の常任委員会に付託することに決定いたしました。

以上をもって、本日の日程は全て終了いたしました。

---

### 次会の日程

議長（水野仁士君） 次に、次会の日程を申し上げます。

11日、12日は議案調査日とし、13日は民生教育委員会を開催し、14日、15日は休会とし、16日は総務産業委員会を開催、17日は総務産業委員会、民生教育委員会を再開いたします。また、18日は議案調査日とし、19日は本会議を再開し、委員長報告、質疑、討論、採決を行います。

---

### 散会の宣告

議長（水野仁士君） 本日は、これをもって散会いたします。

どうもご苦労さまでした。

（午後 1時24分）